



# ウッディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



異分野とのコラボレーションを進める

# ウッディ エイジ

木材の研究と普及

第74巻7号・通巻863号

## 目 次

---

異分野とのコラボレーションを進める	1
カラマツ製材の建築利用に取り組む	3

---

### ※カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発

その1 圧密木材の基礎物性 ..... 6

その2 圧密材料の接合性能 ..... 7

その3 圧密材料の加工性と実用性 ..... 8

※単板の超音波伝播速度を用いたカラマツLVLの強度性能の推定... 9

※AIを用いたパーティクルボードの開発効率化技術の開発... 10

※樹皮成分を用いた合板用接着剤の開発 ..... 11

※高品質なトドマツ心去り正角材の生産に向けて ..... 12

※広葉樹内装材生産におけるAIを活用した選別作業効率化... 13

※行政の窓〔令和7年度 道産建築材活用促進事業及び

道産木材住宅建設促進事業について〕... 14

※「令和7年度森林の扱い手写真コンクール」【作品募集中】について... 15

林産試ニュース・北森カレッジニュース ..... 16

---

※：林産試だより2025年7月号からの転載

((地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾)



### 大阪・関西万博「住友館」 大阪府大阪市此花区夢洲

「住友館」は、住友グループ発展の礎である愛媛県の別子銅山の山並みを模したデザインとなっており、「住友の森」の木材を活用しています。

屋根と外壁にはヒノキの構造用合板を、エントランス周辺には1970年の大阪万博時に植樹されたスギの角材を使用し、年輪や地層を表現しています。ヒノキの構造用合板は、木材の無駄を省き、軽量化を図るため、厚さ9mmのものを採用しています。